

農業ベンチャー部門大賞

ゆうげんがいしゃちゅうじょうのうさん

有限会社中条農産サービス

1 経営概要

- (1) 所在地 熊谷市上中条
- (2) 代表者名 代表取締役 吉野 克己
- (3) 経営内容 小麦6.1ha、水稲4.4ha、他1.8ha

2 受賞理由

- (1) 外国製の大型コンバイン3台や大型トラクタ9台など高性能な機械を積極的に導入し、県内トップクラスの経営を営んでいる。
- (2) 大型機械の能力を発揮させるため、地権者の同意を得て畦畔の除去を行い、更に段差を無くして平らにし、ほ場の大型化を推進している。
- (3) 麦の畝間に水稲の種子を直接は種する栽培技術（水稲麦間直播栽培）に取り組み、水稲の低コスト化に積極的に挑戦している。
- (4) 副産物の「わら」を飼料や堆肥原料として販売したり、「小麦粉」を農村レストランへ販売するなど収益の拡大に積極的に取り組んでいる。



有限会社中条農産サービスの皆さん
(前列中央が代表取締役の吉野克己氏)



大型コンバインによる小麦の収穫作業

農業ベンチャー部門優秀賞

かぶしきがいしゃ

株式会社ヤマザキライス

1 経営概要

- (1) 所在地 北葛飾郡杉戸町才羽
- (2) 代表者名 代表取締役 山崎 能央
- (3) 経営内容 水稻53ha他

2 受賞理由

- (1) 13年前にゼロの状態から農業経営をはじめ、現在53haの規模にまで拡大し、更なる発展のため本年7月に株式会社化している。
- (2) 人工衛星を利用したGPSガイダンスシステム付トラクタを導入し、農作業を高精度でスピーディーに行っている。
- (3) 細かな温度や水管理を要する水稻の育苗を数値管理し、その数値を無線通信で常時把握し高度な栽培管理を行っている。
- (4) 米の販売先から排出される食品残渣と、自社から排出される籾殻から肥料を製造し、それを使用して栽培するリサイクルシステムを構築している。



代表取締役の山崎能央氏



先進的な農業機械による高精度な作業